

国内外300余人招いて祝賀会

「玄真堂」3年かけ全施設の新・増築終わる

「多くの方に助けられた」
スタッフ17人で出発 現在350人に

四月上旬
に三年が
りで川
眞整
の形外科病院をはじめ全施設
の新・増改築を終えた社会
医療法人玄真堂の完成祝賀



300人以上の出席者でにぎわう会場（左下はあいさつする川眞理事長）



会は四月十二日、
グランプラザ中津
ホテルで開かれた。
川眞眞理事長

の交流の広さで岩屋毅衆院議員や国内外の医療関係者市民ら三百余人が出席、一大事業の完成を祝った。
まず最初に川眞理事長が「三十三年前、医院を十七人のスタッフで出発。この後、増改築を八回も繰り返しながら今日の規模に。これも多くの方のご縁とご支援のおかげであります。また素晴らしいスタッフに助けられました」とあいさつ。
続いて新貝市長、国分正一東北大学名誉教授、末廣朋未中津市医師会長ら三氏の来賓あいさつがあり、川眞理事長の医師としての素晴らしい実績や人柄を紹介。



アンデスの会の演奏、中央で笛を吹く川眞さん①子どももまじって太鼓を叩くやばけい河童太鼓②

33年前 中津に 帰り 病院を開業

川眞理事長は昭和四十四年に東京医科大学医学部を卒業後、虎の門病院、九州労災病院の勤務医を経て昭和五十六年、故郷の中津に整形外科病院を開業。勤務医時代の昭和五十年には潜函工の骨壊死を日本初の労災病に認定させ、さらに骨髄炎の局所持続洗浄療法の開発。

川眞
理事長

初の自叙伝を出版



川眞理事長の自叙伝「苦楽吉祥」

川眞整形外科病院の川眞眞理事長（六九）が四月十二日に七冊目の新刊「苦楽吉祥」を出版した。川眞理事長は、これまでに中津の蘭学や医学の歴史などを紐

解いた書籍を、共著も含めて六冊ほど出版している。しかし、このたび、三年かけて病院やクリニックなど全施設を新築・増改築した事を期に院長を息子の眞之さんに任せると同時に自分の人生を振り返るいい機会と考え、自分史とも言える

エッセイ風自叙伝を初めて出版した。

東京、大阪、九州北部の主要書店で好評発売中。A5判上製、三二八頁、初版二五〇〇部、定価二千三百十五円十消費税。

また国内では屈指の高圧医療の権威、そして医学史研究者として数々の学術賞や功労賞、文化賞を受賞している。わずか十七人で開設した病院を今では約三百五十人ものスタッフを擁する国内屈指の整形外科病院へと発展させている。